

全国学力・学習状況調査の結果分析

今年度4月に本校3年生を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」についての結果がまとめましたので、本校生徒の状況をお伝えします。各教科の分析結果及び、生徒質問紙調査の分析結果は下記内容をご覧ください。

国語

« 問題のポイント »

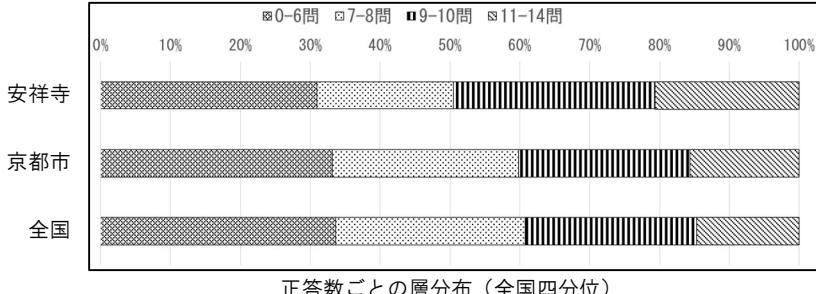
今年度は、話や文章の構成や展開について考えたり、自分の考えが伝わるように根拠を明確にして書いたりすることができるかどうかを問う問題が出題されました。

« 結果 »

安祥寺中学校正答数…8.1問／14問

京都市平均正答数…7.7問／14問

全国平均正答数…7.6問／14問



« 結果のポイント »

- ・安祥寺中学校3年生の正答率は京都市平均・全校平均を上回っている。
- ・文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定の仕方を捉えることはできている。
- ・自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くことに課題がある。
- ・読み手の立場に立って、語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えることに課題がある。

数学

« 問題のポイント »

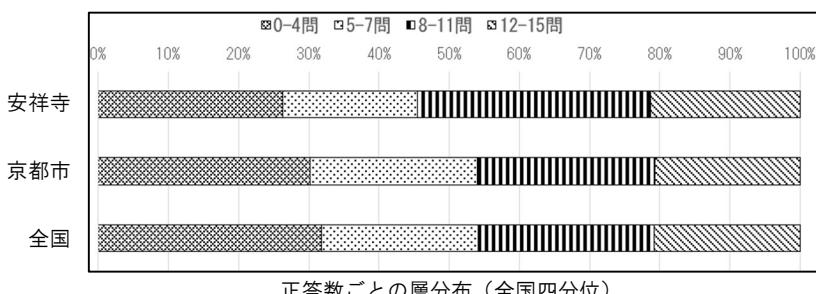
今年度は、今後の学習において活用される基礎的・基本的な知識及び技能や、その知識及び技能が、生徒が問題解決をしていく過程でどのように用いられているかについてを明確にした問題が出題されました。

« 結果 »

安祥寺中学校正答数…7.6問／15問

京都市平均正答数…7.5問／15問

全国平均正答数…7.2問／15問



« 結果のポイント »

- ・安祥寺中学校3年生の正答率は京都市平均・全校平均を上回っている。
- ・必ず起る事柄の確率について理解できているが、不確定な事象の起りやすさの傾向を捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することについては課題がある。
- ・数学の用語の意味の理解に課題がある。
- ・統合的・発展的に考え、条件を変えた場合について、証明を評価・改善することに課題がある。また、証明したことに基に、新たに見いだした事柄を証明することにも課題がある。

理科

« 問題のポイント »

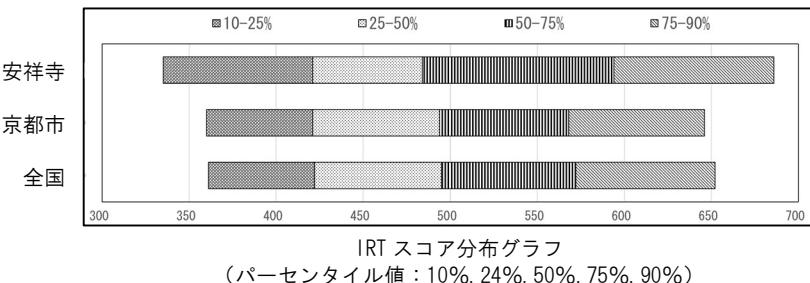
今年度は、「知識・技能」では、自然の事物・現象に関する「事実的な知識」と「知識の概念的な理解」及び観察、実験の「技能」に関する問題を、「思考・判断・表現」では、科学的な探究の過程において自然の事物・現象に関する知識を活用することで、思考力、判断力、表現力等を把握する問題、科学的な探究の方法や理解に関する問題が出題されました。また、理科では IRT (Item Response Theory:項目反応理論) を活用して結果が分析されています。

« 結果 »

安祥寺中学校 IRT スコア…510

京都市 IRT スコア…500

全国 IRT スコア…503



« 結果のポイント »

- ・安祥寺中学校 3 年生の正答率は京都市平均・全校平均を上回っている。
- ・探究から生じた新たな疑問などに着目した振り返りを表現することはできているが、見いだした問題を解決するための適切な課題を設定することに課題がみられる。
- ・火災における避難行動について、気体の性質に関する知識が概念として身に付いていると考えられる。
- ・回路の電流・電圧と抵抗や熱量に関する知識を身に付けることに課題がある。
- ・観察した水の中の生物が呼吸を行うか否かについて、これまで理科で学習したことを活用して、生命を維持する働きに関する知識を概念として身に付けることに課題がある。

これらの分析結果を基に、安祥寺中学校ではこれから教育活動を改善してまいります。

生徒質問紙調査

【全国・京都市と比べて良好だった項目】

- ・自分には良いところがある
- ・先生はあなたの良いところを認めてくれる
- ・いじめはどんなことがあってもいいことである
- ・人の役に立つ人間になりたい
- ・学校に行くのは楽しい
- ・1日あたりどのくらい読書をしているか
- ・授業や学校生活では、周りの人の考えを大切にし、お互い協力しながら課題解決に取り組んでいる
- ・学級生活をより良くするために、学級で話し合い互いの意見の良さを生かして課題の解決方法に取り組んでいる



【全国・京都市と比べて改善の余地が見られる項目】

- ・毎日同じくらいの時間に寝て、同じ時間くらいに起きている
- ・将来の夢や目標を持っている
- ・困りごとや不安があるときに先生や学校にいる大人にいつでも相談できる
- ・自分と違う意見について考えることは楽しい
- ・わからないことや詳しく知りたいことがあったときに自分で学び方を考え、工夫することができる
- ・土日学校が休みの日に1日あたりどれくらいの時間勉強をしているか
- ・課題解決に向け、自分で考え自分から取り組んでいる

※ 自分自身はもちろんのこと、他者に対する考え方の受け入れや理解を大切にすることでき、特に学校生活や学級生活などをより良くするための方策を、お互いに話し合い協力しながら導き出そうとする姿が見られる。また、学校に行くことが楽しいと思える生徒や、先生が良いところを認めてくれるという意見を持つ生徒が多く、充実した学校生活を送っているものと考えられる。

とはいえ、このアンケート結果から、自分一人で課題解決に向けて学んだり考えたり行動したりということが苦手という生徒や、人と違う意見や考えを持つと不安になる生徒がいる。また、困りごとや不安があるときに先生や学校にいる大人に相談できる問では、全国や京都府と比較すると少しポイントが下回り、自分で考え込んでしまう傾向がある。集団での力はあるように思えるものの、個の力に関してはまだまだ改善の余地がある。

だからこそ、本校の学校目標である「気づきと応答」を大人側が常に意識し、生徒一人ひとりとしっかりと向き合い、失敗を否定しない環境づくりを徹底し、すぐに解決策を与えてしまうのではなく、考える機会を与える、こちらが待つ姿勢を示すことが必要であると考える。